


もぞう紙にまとめよう

- 一番上に読んでみたいと思わせるタイトルを書きましょう。
- 調べようと思ったわけや、調べ方を書きましょう。
- 調べてわかったことは、まとめて書き、自分の考えも書きましょう。
- 文字は大きく、はっきりと、そして絵や表、写真をいれましょう。
- みじかい文で書きましょう。
- 調べるのに使った本の名前を書きましょう。

タイトルを書こう！

→ を使って読む順番がわかるようにしたよ！

できあがった日、
つくった人の学校・
学年・名前を書こう！



タンポポちず

2008年9月15日 むなかた小学校
2ねん1くみ むなかたはな子

調べようと思ったわけ

家の植木ばちにタンポポがさいていた。たねを植えていないのに、ふしぎだなと思ったので、どこから種がきたのか調べてみようと思った。

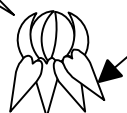
調べること・方法

- 家のタンポポを図かんで調べる。
- タンポポをかんさつする
- たねの数をかぞえる。
- 家のまわりのタンポポを調べ、地図にする。
- タンポポの一生を調べる

わかったこと・気がついたこと

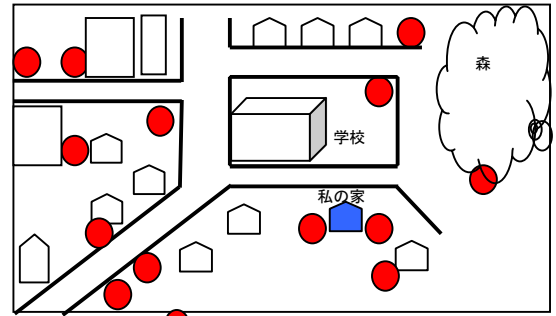
- タンポポには、はじめから日本にあるもの(在来種)と外国からきたもの(外来種)がある。みつけたのは、みんな外来種(西洋タンポポ)だった。
- ひとつの花に183個のたねがついていた。
- タンポポの花は、朝ひらいて、夕方にはとじる。
- タンポポの根はとても長くて、1メートルあるものがあった。
- わたげをつけた種は、とても軽くて、風にとばされ遠くまでとんでいくことができる。

在来種と外来種のみわけかた



花の一番外側の総包が下向きにそり返るのが外来種、在来種は花をだいている。

タンポポちず



森

学校

私の家

タンポポをみつけたところ

タンポポの一生(はな子 さつえい)

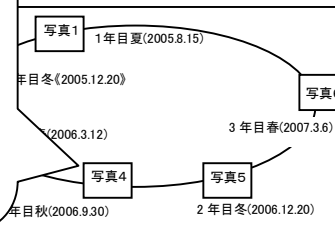


写真1 1年目夏(2005.8.15)

写真2 1年目冬(2005.12.20)

写真3 2年目春(2006.3.12)

写真4 2年目秋(2006.9.30)

写真5 2年目冬(2006.12.20)

写真6 3年目春(2007.3.6)

★しらべてみて、次のことがわかった。

西洋タンポポの種はとても軽くて、ひとつの花からたくさんの種がでる。風にとばされて、あちこちへどんどん増えている。家のタンポポもそうやって、風によってやってきた。

参考資料

『ふしぎをためすかがく図鑑 しょくぶつのさいばい』 水野文夫 監修 1995年

『大自然のふしぎ 植物の生態図鑑』 川上親孝 編 1993年 学習研究社

『えほん・フォトかみしばい⑥ タンポポ』 七尾純 構成・文 1999年 あかね書房 (全部)

絵を書くといいね！

調べたことを地図にしてみたよ！

写真があるといいな！
写した日にちと、
写した人を
書いておこう！

調べるのに使った本の
名前、本を書いた人、
作った会社、作った年、
本のあるところを
書いておこう！